

忠生中学校だより

げんとう かぜ  
原頭の風

—2026年度 第1号—



2026年4月8日発行

子どもの数は命の数

～生徒が主役で、笑顔いっぱい光り輝く学校～

町田市立忠生中学校

校長 高橋 博幸



Tel 042 (791) 0821

Fax 042 (791) 6514



## 凡事徹底！

校長 高橋 博幸

春のお花に祝福されて、6学級199名の新入生が忠生中学校の門をくぐります。その前々日に始業式を迎えた2・3年生とともに22学級（9組5学級を含む）593名の新学年が始まりました。教職員も新しいメンバーを加えて、「**チームただお**」を合い言葉に、「**生徒が主役で笑顔いっぱい光り輝く学校**」を目指して、全力で教育活動を推進して参ります。

さて、2026年度の4月号は「**凡事徹底！**」と題して挨拶させていただきます。

おはようございます。花壇のお花が美しく咲いています。まるで、生徒の皆さんの進級を祝福しているかのようです。進級、おめでとう。晴れやかな皆さんの顔を見ることができて本当に幸せです。元気に登校してくれて、ありがとう。先ほどの着任式で紹介した先生方が加わり、新しい体制で忠生中学校の2026年度がスタートします。新しいクラスの友達や担任の先生に緊張している人もいます。しかし、こうした緊張感は、今しか味わえません。この新鮮な気持ちになる経験は、非常に重要なものであると私は考えています。皆さんは「今年はこの年にしたい」と抱負を考えた人もいるでしょう。私は皆さんに抱負以外に「凡事徹底」を生活の中に取り入れてほしいと思っています。

今日のテーマは「**凡事徹底**」です。「凡事徹底」とは、「凡事」と「徹底」の二つの熟語を組み合わせた四字熟語で、「凡事」とは「ありきたりなこと」「当たり前のこと」という意味です。また、「徹底」は「態度・行動が中途半端でなく、一つの考え方で貫かれていること」という意味です。この言葉はカー用品専門店である株式会社イエローハット創業者の鍵山秀三郎さんが提唱して広めた言葉です。例えば、朝起きたらベッドを整える。玄関で靴を脱いたら、きちんとそろえる。自分で出したものは自分で片づける等々、日常生活の中で当たり前のちょっとしたことをしっかり行う、ということです。鍵山さんは自分の会社のトイレ掃除や会社周辺のごみ拾いなどを四十年にわたって自ら率先して徹底的に行いました。手を抜かないで、毎日の積み重ねを継続していく「凡事徹底」は、人間的にも大きな成長をもたらす土台をつくります。実際に鍵山さんは、掃除だけでなく、「凡事徹底」の精神でお客様を大切に、信頼を勝ち得て、会社を大きくしていきました。忠生中学校でも、この「凡事徹底」を取り入れ、一人一人が自分の「当たり前」を見つめ直し、目標に向けてコツコツと努力してほしいと思います。当たり前に「挨拶」する。当たり前に「時間」を守る。当たり前に「嘘」をつかない。当たり前に校舎内に「ゴミ」が落ちていたら拾う。当たり前に「人が嫌がること」を言わない、しない。今の世の中は、目に見えるところを飾り立てたり、目に見える短期的な成果ばかりを追い求め、評価されたりする風潮があります。しかし、**目に見えないところや、目立たないところで努力することは、とても大切なことだ**と私は信じています。自分のできることをコツコツと継続する、その積み重ねが大きな成果を生むことにつながるのです。**ちょっとした「平凡」が、いずれは誰もが、マネできない「非凡」につながる**のです。

生徒の皆さんには、この一年間「何気ない当たり前のこと」をしっかりと行う「凡事徹底」を意識した行動に期待しています。  
【4月6日(月)始業式 校長講話より】

生徒たちは、始業式や入学式で新しい仲間と出会いました。新たな仲間との新しい生活のスタートです。生徒一人一人がこの新たな「出会い」を大切に、先生や仲間と良好な人間関係を築き、健やかに成長してくれることを願っています。保護者や地域の皆様方には、今年度も本校の教育活動にご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

## ◎ いじめ防止対策研修 ～いじめの根絶を目指して～

町田市教育委員会は、いじめの根絶を目指して、校内におけるいじめに関する研修を年間3回以上行うことになっています。忠生中学校では、4月3日（金）の11時から多目的室で「いじめ防止対策研修」を行いました。講師は高橋博幸校長です。

はじめに過去に実際に起こったいじめの事例を読み解説します。この事例は、「善意の教師が加害者になる」という恐怖を教職員に共有し、主観（仲が良いはず）に頼らない組織的な見守りの重要性を再認識させることを目的としています。

まずは教員一人一人が個人で考えてワークシートに記入します。次に3人のグループで討論をして、①予兆の発見と初期対応、②保護者への緊急対応、③事実確認と今後の指導について考えました。そして、グループの代表者が、討議した内容を発表し、具体的な対応策などを共有し学び合うことができました。

最後に、高橋校長からいじめを未然に防ぐための具体的な行動についての話がありました。

「いじめは、どの学校でも、どの子どもにも、起こり得る」問題であり、いじめに悩む生徒を救うために、「いじめを決して見逃さない、いじめを決して許さない」という決意のもと、忠生中の先生たちは真剣に研修に取り組みました。常に子どものことを第一に考えて、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に取り組んでまいります。



## ◎ 着任式・始業式を行いました

4月6日（月）にアリーナで着任式と始業式を行いました。今年度は10名の先生方と3名の職員の方々が着任されました。校長先生から着任した先生方の紹介があり、お一人お一人の先生方から自己紹介がありました。着任した先生の顔を見てうなずきながら話を聞く生徒や、優しいまなざしでお話を聞く生徒など、アリーナは温かい雰囲気になりました。着任した先生方や職員の方々も「チームだお」の一員です。よろしくお願いします。

続けて始業式を行いました。校歌斉唱のあとに校長先生から「凡事徹底」をテーマにお話がありました。次に、生活指導主任の薮先生から「①基本的生活習慣を身に付ける、②授業規律を守る、③環境整備に努める」のお話がありました。そして、生徒会本部役員のKさんから「充実した1学期にするために、授業や行事などの学校生活に全力で取り組もう」と、話がありました。

進級した生徒の皆さんは、新年度への期待に胸をふくらませ、しっかりとした態度で式に臨んでいます。新3年生は忠生中の「顔」として、新2年生は「中堅学年」としての活躍を期待するとともに、よりよい忠生中づくりのために力を合わせて取り組んでいきましょう。

